

2012年12月期第2四半期

決算説明資料

 木徳神糧株式会社
2012年8月24日

2012年12月期第2四半期 連結業績の概況

増収・減益

単位：百万円

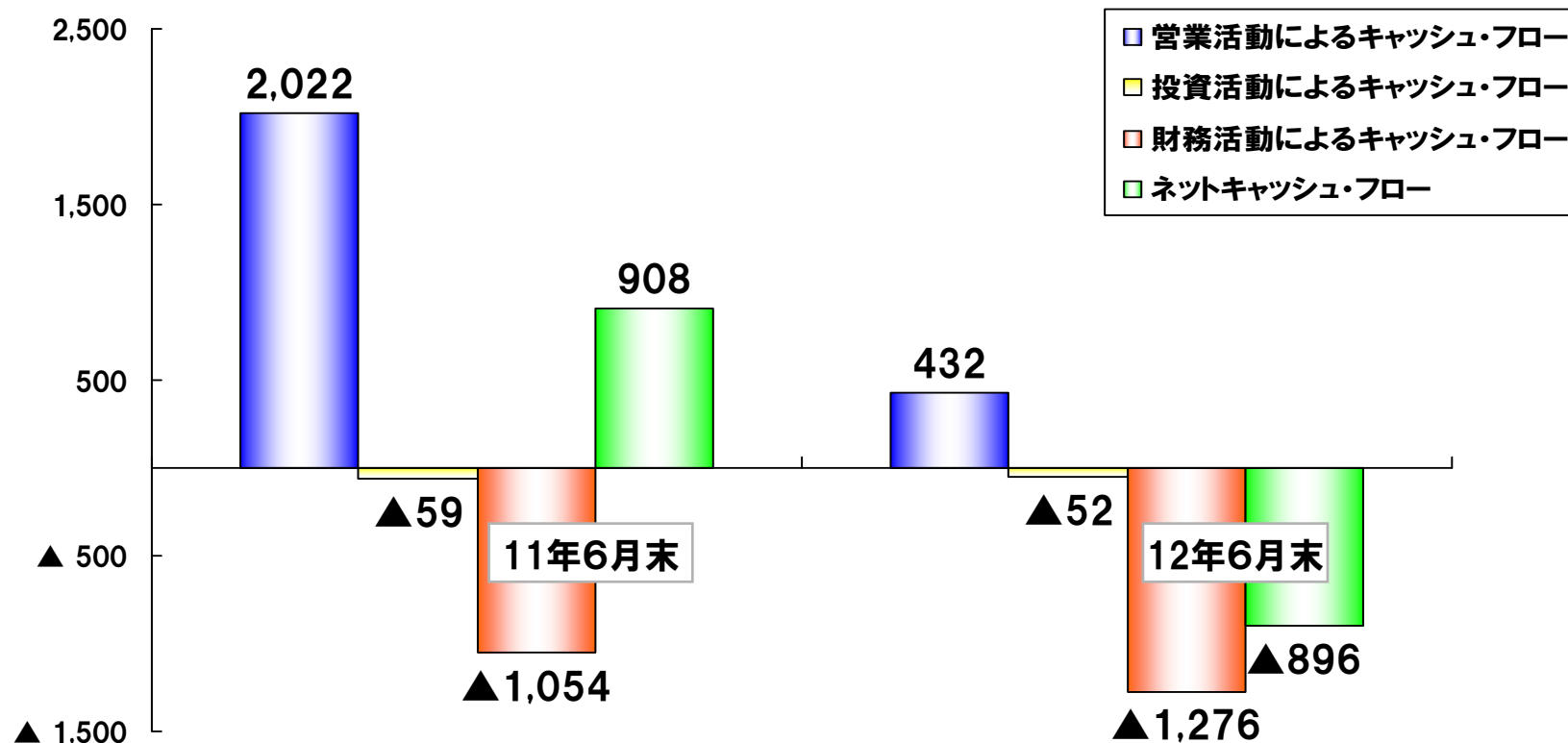
	当第2四半期 (12年6月)	前年同期 (11年6月)	前同期比	計画	計画比
売上高	52,172	48,484	107.6%	52,000	100.3%
売上総利益	3,494	3,855	90.6%	3,785	92.3%
売上比	6.7%	8.0%		7.3%	
販売管理費	3,037	2,808	108.2%	3,215	94.5%
売上比	5.8%	5.8%		6.2%	
営業利益	457	1,047	43.6%	570	80.2%
売上比	0.9%	2.2%		1.1%	
経常利益	492	1,038	47.4%	530	92.8%
売上比	0.9%	2.1%		1.0%	
特別損益	30	△1,020	-	60	50.0%
売上比	0.1%	-		0.1%	
第2四半期純損益	472	△111	-	380	124.2%
売上比	0.9%	-		0.7%	

単位：百万円

	当第2四半期末 (12年6月末)	前期末 (11年12月末)	増減額
総資産	24,666	27,024	△2,358
純資産	6,381	6,006	+375
自己資本比率	24.3%	20.7%	+3.6%
1株当たり 純資産(円)	707.19	659.04	+48.15

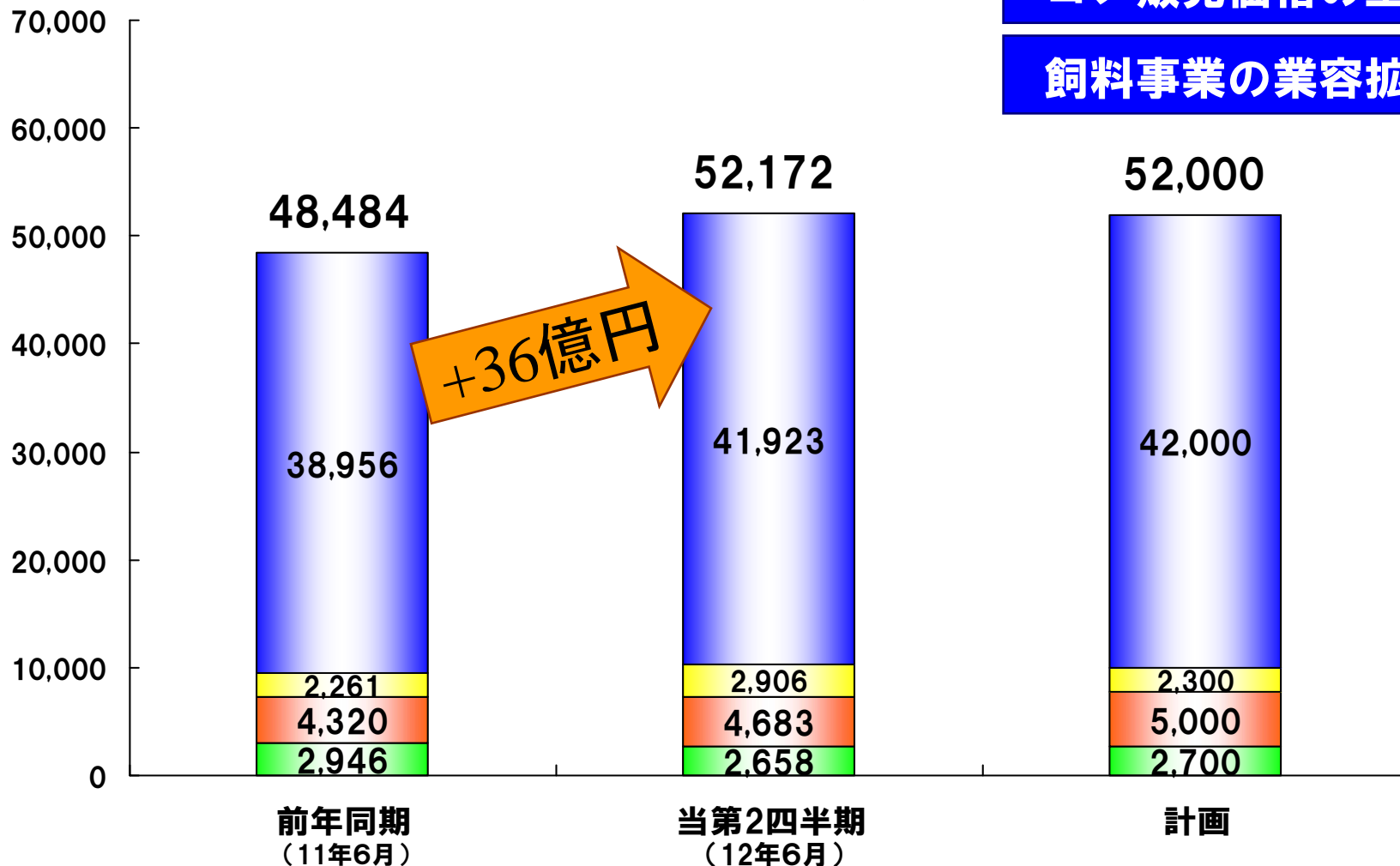
単位：百万円

	当第2四半期末 (12年6月末)	前年同期 (11年6月末)	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	432	2,022	▲1,590
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲52	▲59	+7
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲1,276	▲1,054	▲222



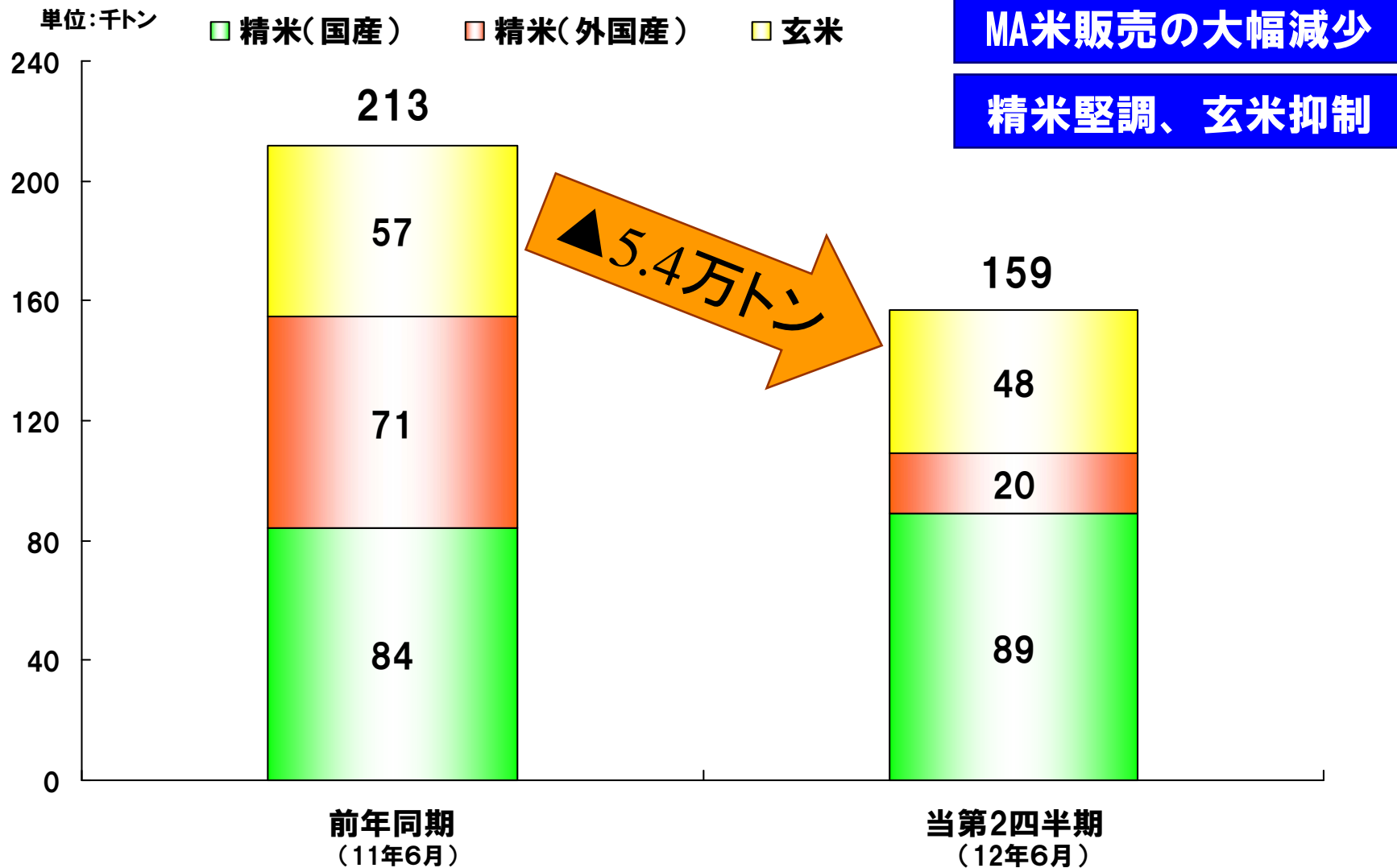
単位：百万円

■ 鶏卵事業
 ■ 食品事業
 ■ 飼料事業
 ■ 米穀事業



コメ販売価格の上昇

飼料事業の業容拡大

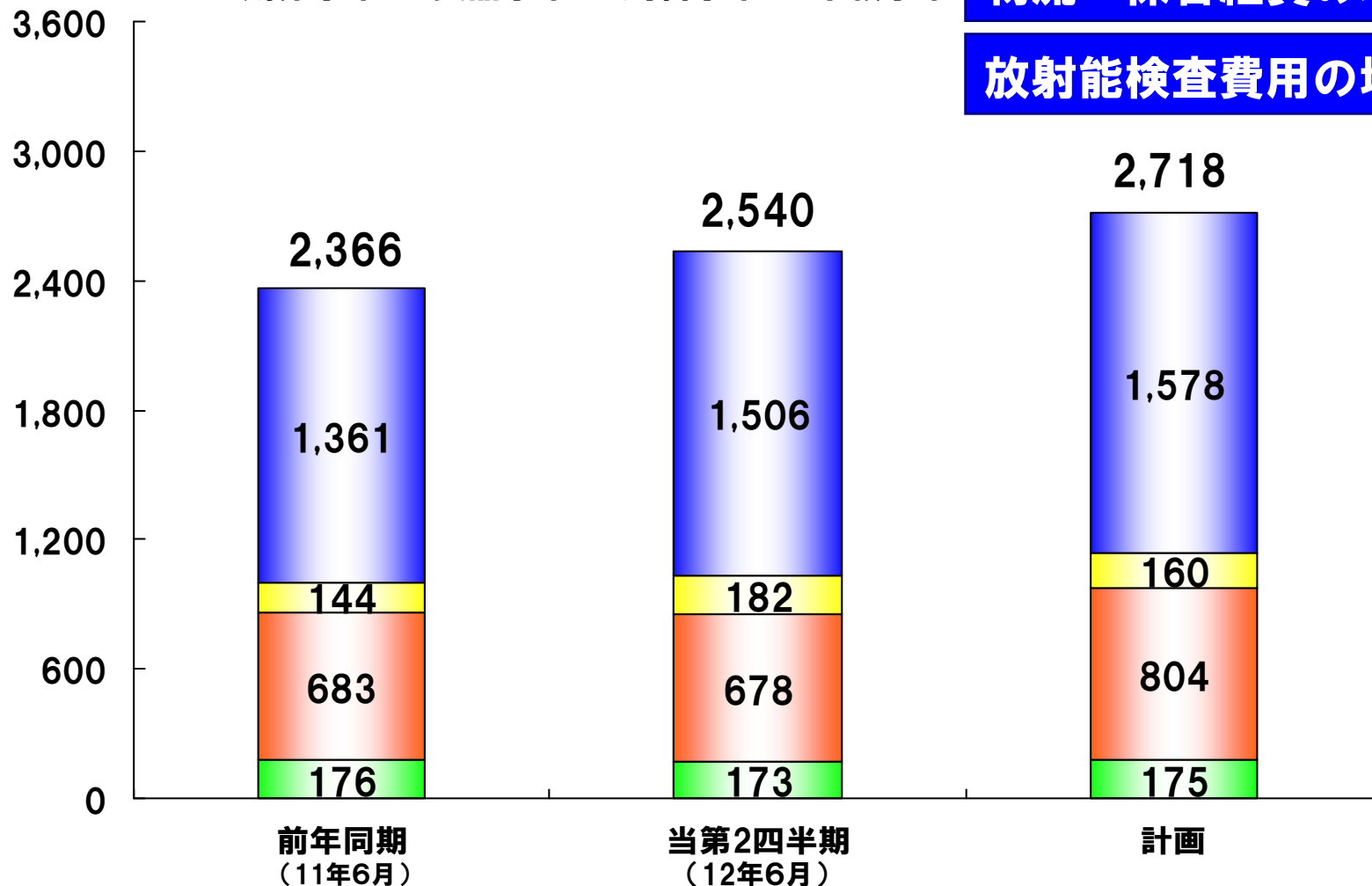


単位：百万円

■ 鶏卵事業
 ■ 食品事業
 ■ 飼料事業
 ■ 米穀事業

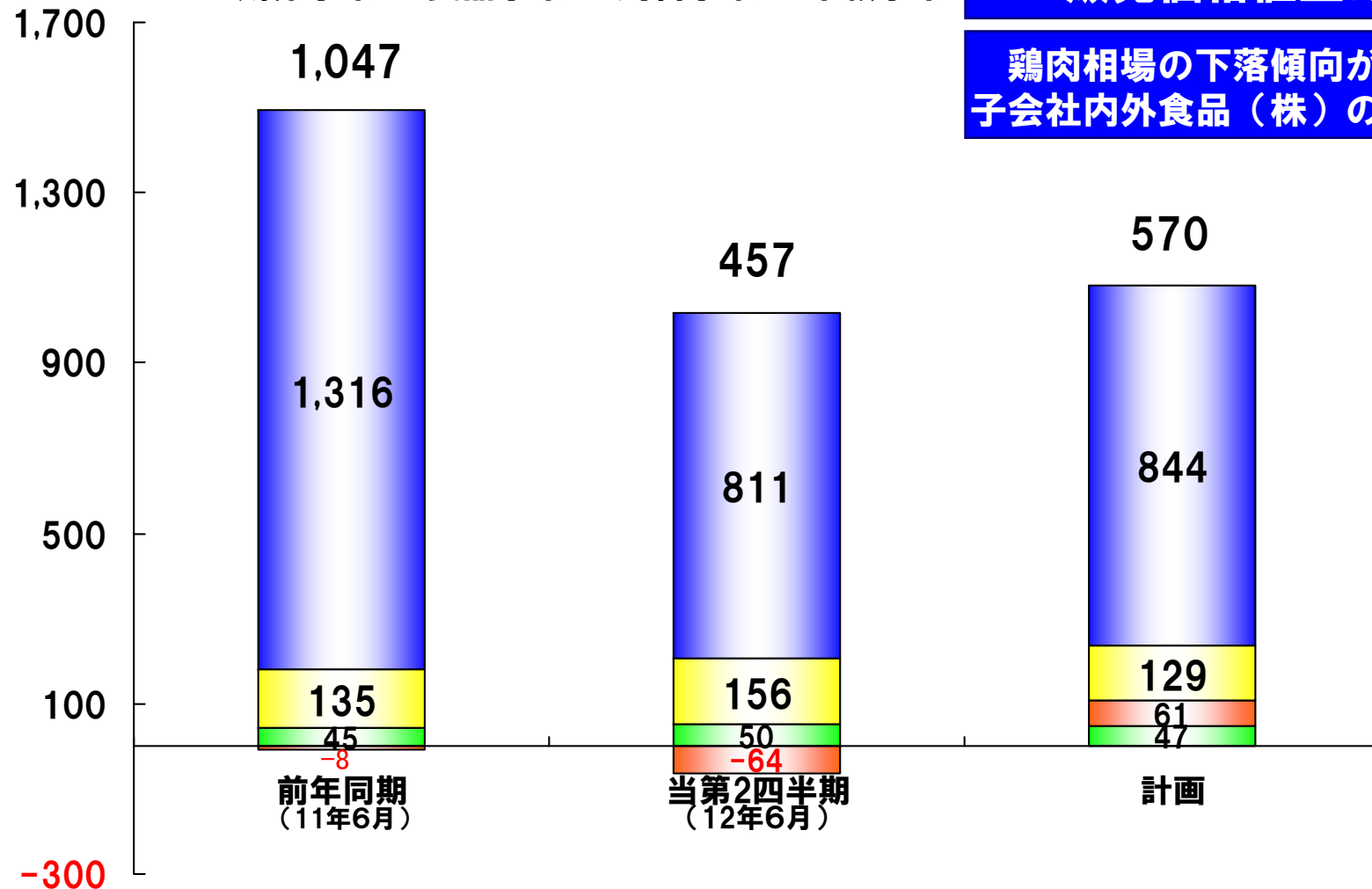
物流・保管経費の増加

放射能検査費用の増加



単位：百万円

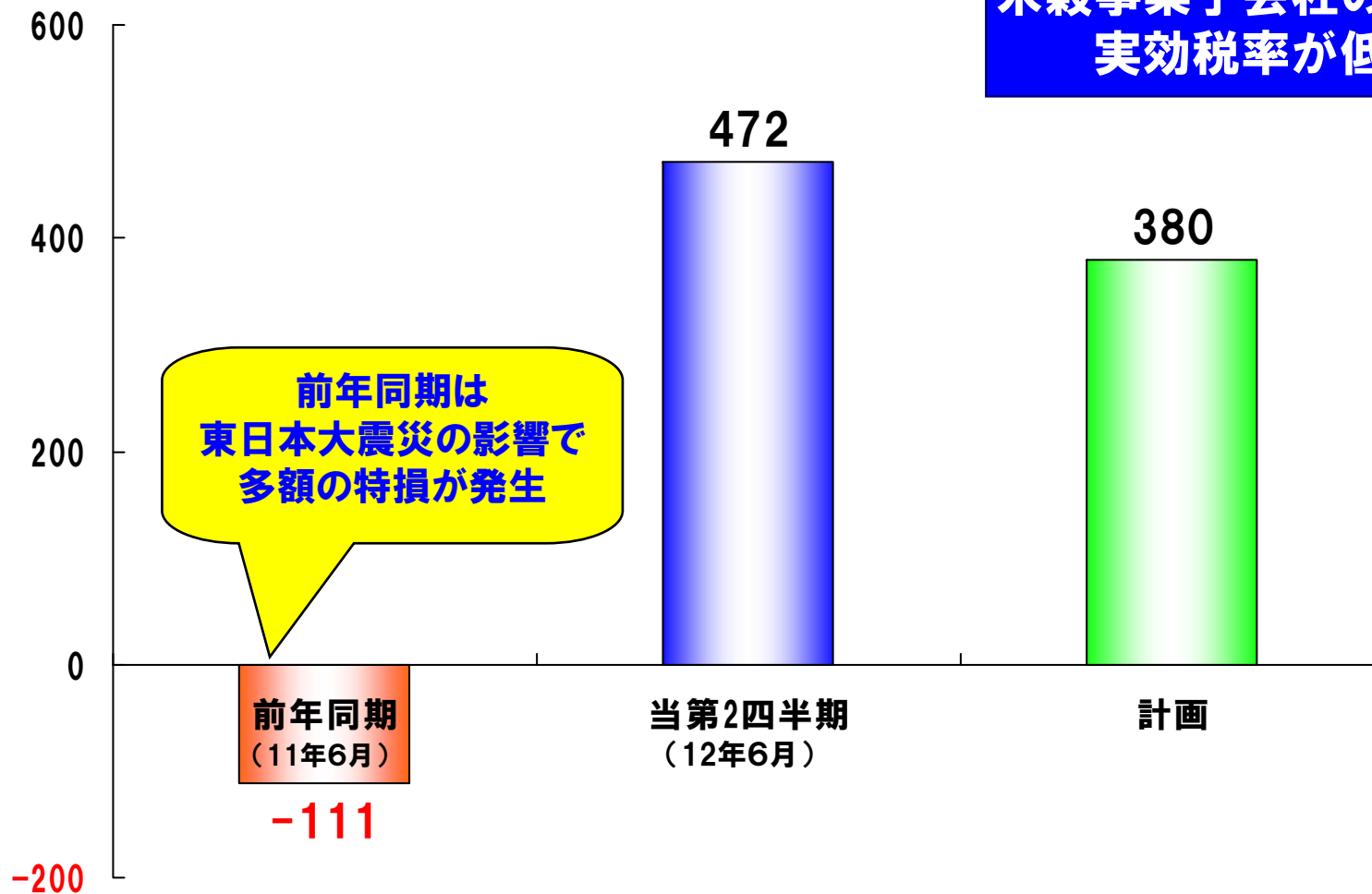
■ 鶏卵事業 ■ 食品事業 ■ 飼料事業 ■ 米穀事業

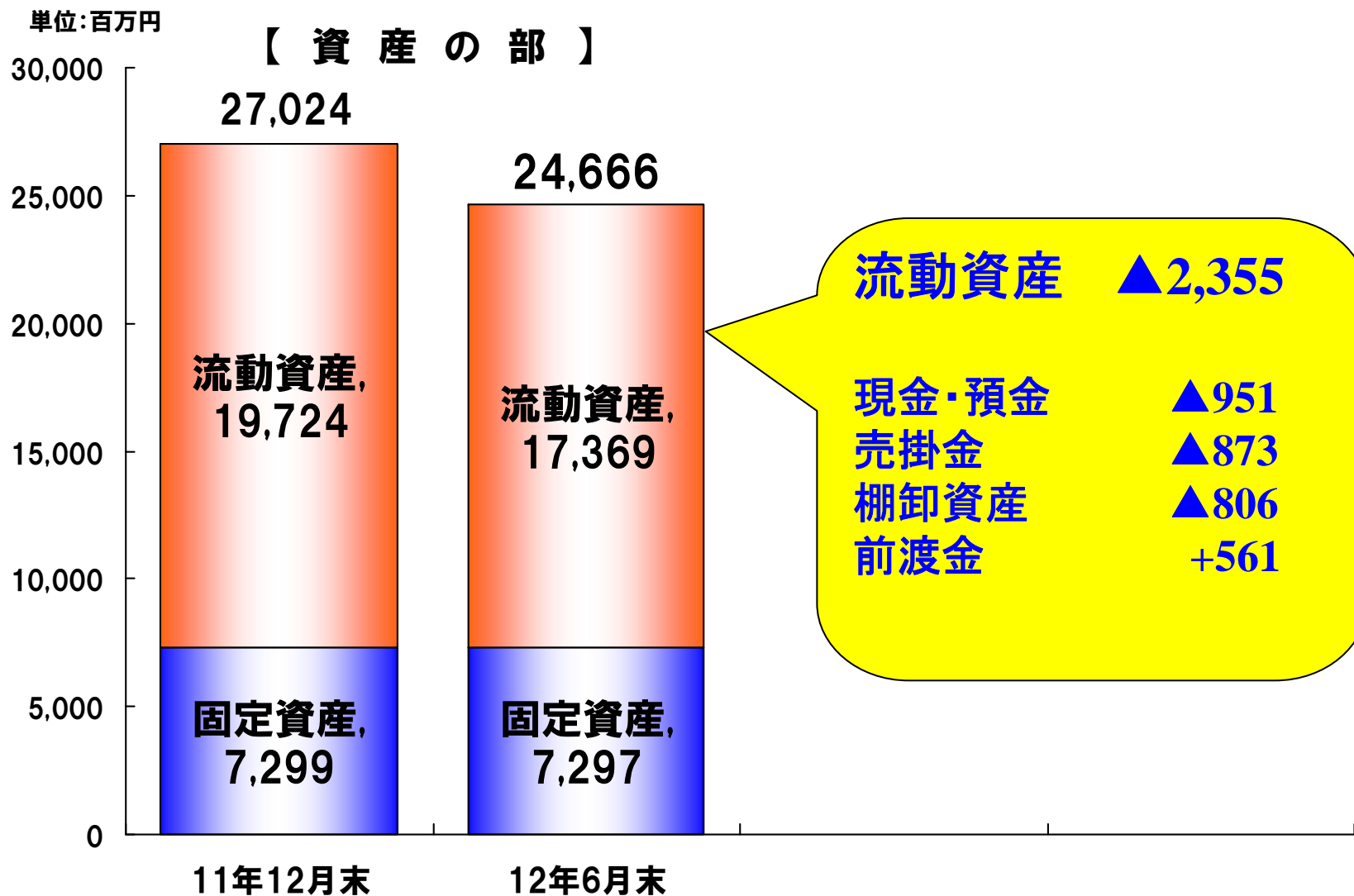


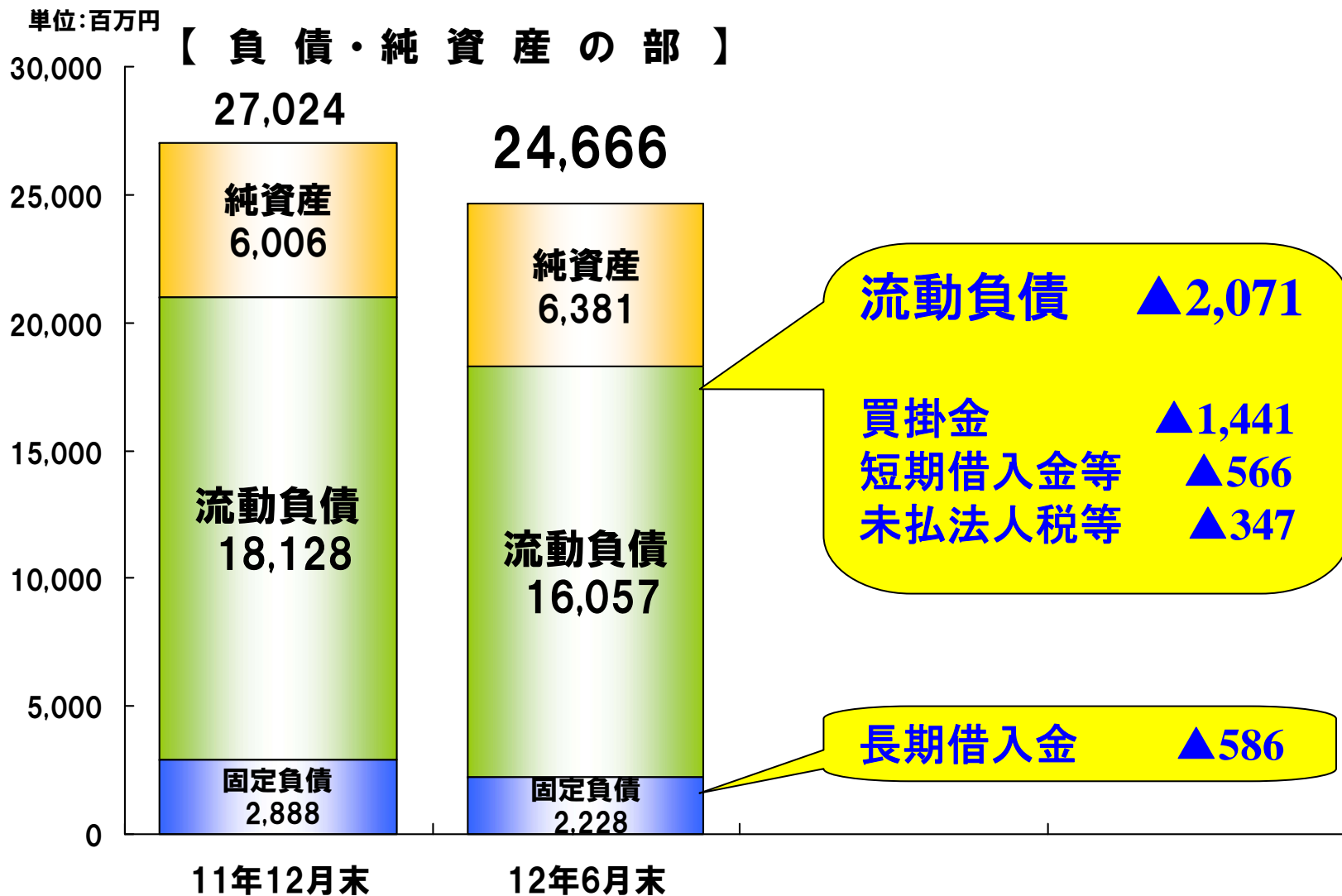
コメ販売価格値上げの遅れ

**鶏肉相場の下落傾向が続き、
子会社内外食品（株）の業績低迷**

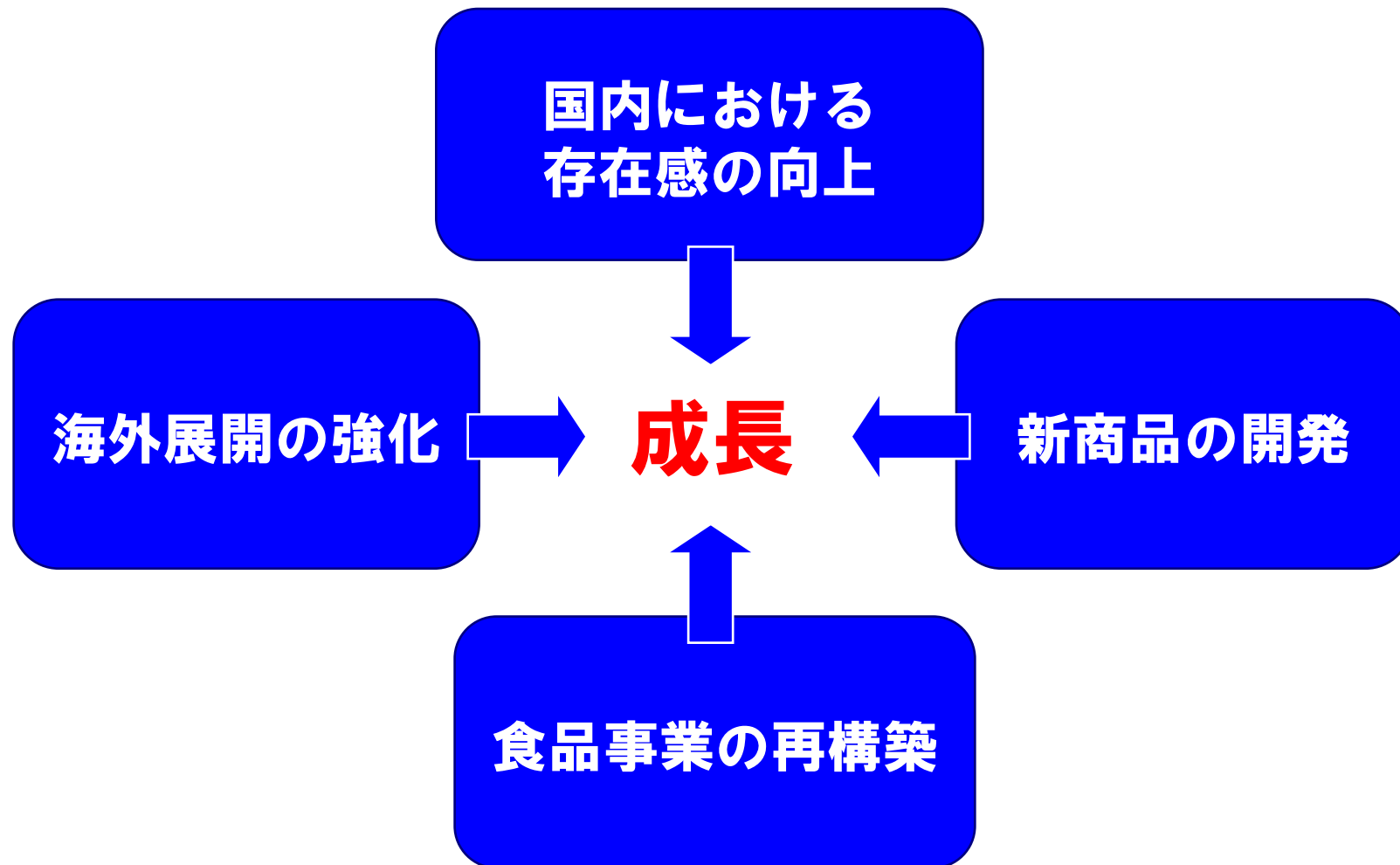
単位：百万円







経営戦略



◇国内市場における取引シェアの拡大

- ・仕入や販売体制を全国規模で強化
- ・西日本地区（中京、関西、九州etc）に注力

◇生産拠点の整備・増強

- ・西日本地区工場（滋賀工場、岡山工場、福岡工場）の増産体制へ、主力桶川工場の精米ラインを増強予定
- ・関東・東海地区で輸入米対応生産ラインを整備

◇品質管理、リスクマネジメントの強化

- ・全国の工場間の連携と補完で有事対応を強化
- ・原料安全性の確認や自主検査体制を充実

関西支店



新潟製粉工場（※）



東北支店



中四国支店・岡山工場



桶川工場



本社

九州支店・福岡工場



滋賀工場



東海支店・静岡工場



本牧工場



（※）新潟製粉工場は食品事業に含まれる。

◇安全・安心な飼料原料の供給

- ・内外環境の変化や取引先のニーズを先取り
- ・グループの優位性を発揮し検査体制や情報伝達を強化

◇事業規模のさらなる拡大

- ・数量増大により売上高29億円を突破（前年同期比28.5%増）
- ・販売エリアの拡大を図り全国展開を視野に

◇輸入飼料の開拓

- ・専門性を生かして差別化できる原料を開拓
- ・グループの海外拠点との連携を強化



アメリカワシントン州の圃場

◇ベトナム事業の充実

- ・ ジャポニカ米や長粒種米の三国間貿易を促進
- ・ 周辺国のコメビジネスとの連携を強化
- ・ 新規事業を検討



ベトナム産短粒種（ジャポニカ米）

◇SBS米輸入量の拡大

- ・ 国内向けにアメリカ米や中国米の輸入を強化
- ・ 安定的なMA米の取扱い

ミニマム・アクセス米(MA米)とは、
日本政府が高関税を課して輸入を制限する代わりに、最低限輸入する量の外国産米を指します。
年間数量約767千トンとなっています。

SBS米とは、
MA米のうち、輸入業者と卸業者が連名で売買同時入札を行う方式の外国産米を指します。
年間数量10万トンの割当て。



MA米の船積み

◇中国事業の本格化

- ・ 日系スーパーや外食チェーンへの営業を強化
- ・ 現地法人木徳（大連）貿易の営業体制を拡充
- ・ 販売エリアを拡大
（北京、天津、青島、上海、成都etc）

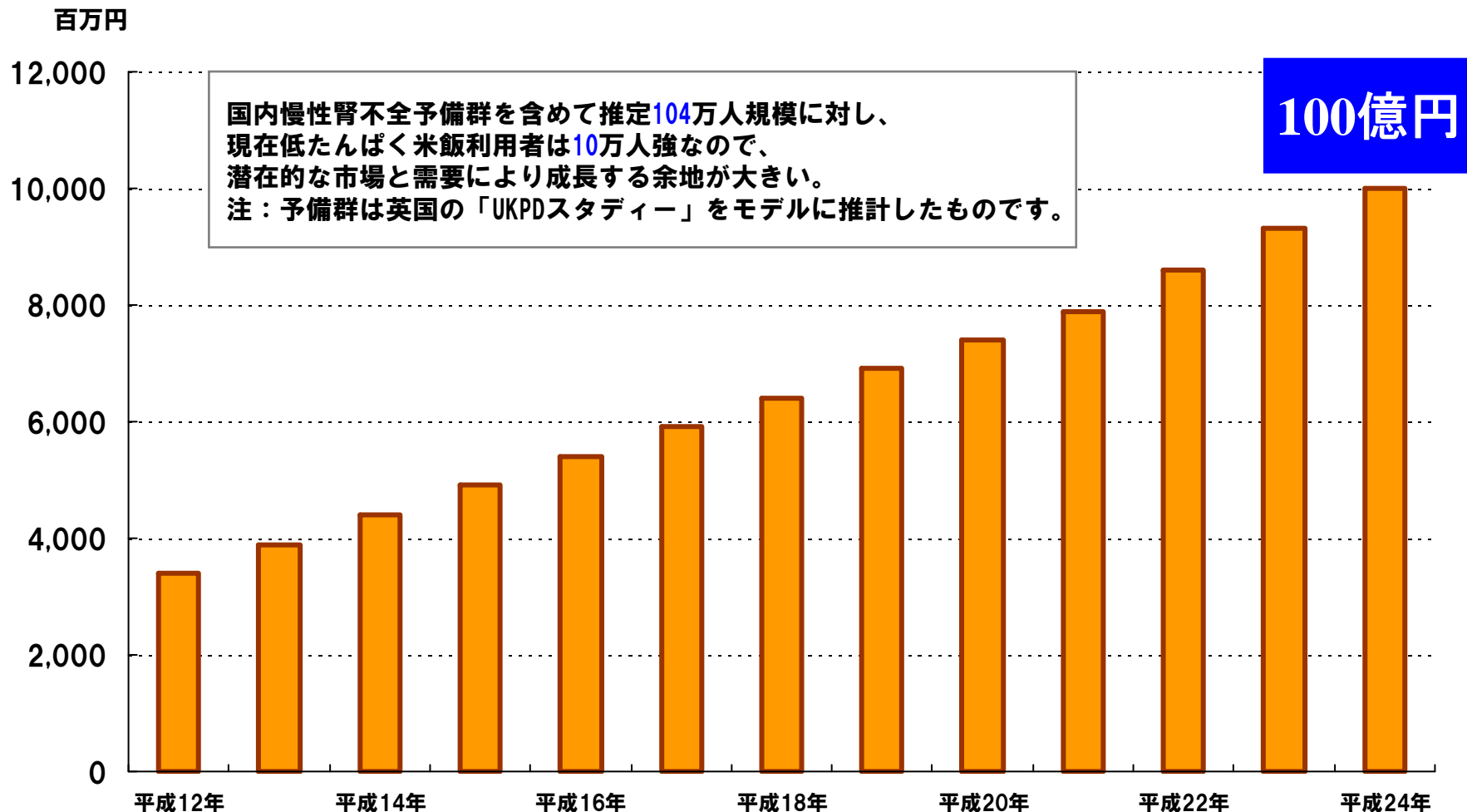


現地法人所在地（大連）

◇機能性加工米の輸出

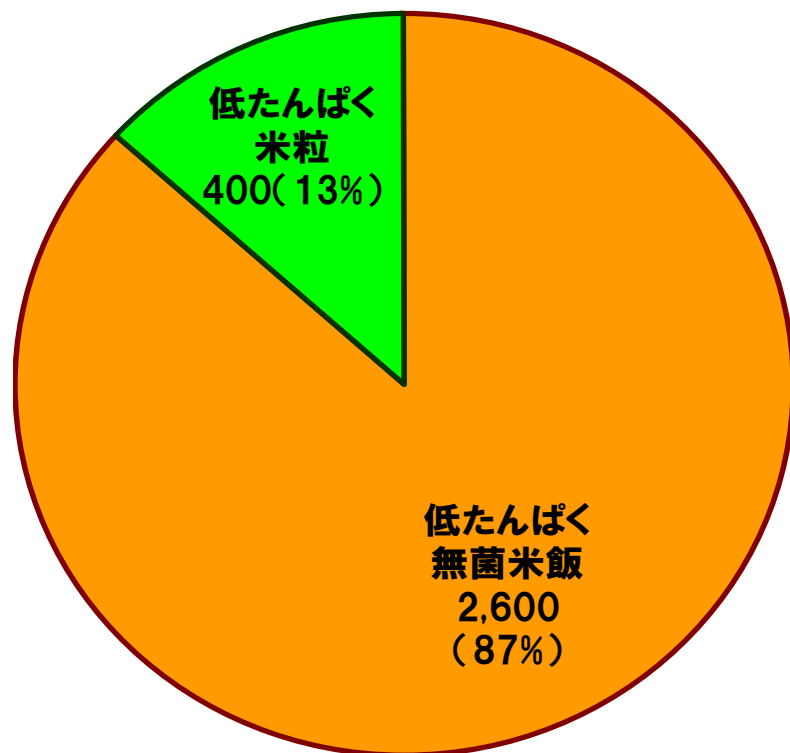
- ・ 低たんぱく米、低カロリー米、アルファー化米等の機能性を持った商品の海外への輸出を推進実行

○平成12年～24年の腎臓病関連食品の市場規模の推移



資料：菊地泰蔵氏の市場調査レポートに基づく当社推計。金額は末端価格ベース。

○低たんぱく食品分類別売上高（末端価格ベース）
単位：百万円



低たんぱく食品における
当社シェア 21%

米粒商品シェア 64%

無菌米飯シェア 14%

◇低たんぱく関連コメ加工品の拡充

・低たんぱく米シリーズ

年間販売約400万食、売上高5億円を突破する見込み

（過去5年間年平均15%成長中、販売利益率約20%）

- ・ **酵素技術で長期保存アルファ化米を開発**（常温長期保存可能）
- ・ **米粉パン用ミックス粉を拡販**（ホームベーカリーニーズ対応）



アルファ化低たんぱく米



米粉パン用ミックス粉

◇コメ加工食品の新規開発

- ・こめ油「こめしぼり」の業務用向け販売を強化
- ・こめ麴の伝統製法で飲料「ライスミルク」の新商品を投入
(しょうが味が好評発売中。高齢者の栄養摂取を助ける機能も。)

2012年度フードアクション・ニッポン優秀賞

2012年度モンドセレクション銀賞



ライスミルク



こめドレッシング



こめ油



◇主力鶏肉事業(内外食品(株))における改革の実施

・生産、加工、販売体制の見直し

生産面：マーケット志向の雛飼育へと転換

加工面：生産や販売との連携を強化、半加工からの打破

販売面：スーパーへの営業や付加価値商品の販売を強化

・親会社による支援の強化

人的支援：経営人材の派遣、生産・営業・管理人材の投入を検討

販売支援：グループの取引先の紹介や同行営業を強化

管理支援：会計システムの統合、管理ノウハウの提供



黒字転換

2012年12月期連結業績予想

単位：百万円

項目	12年12月期 第1四半期実績	12年12月期 第2四半期実績	12年12月期 連結業績予想	第2四半期実績対 通期予想の進捗率
売上高	25,828	52,172	104,000	50.2%
営業利益	263	457	1,220	37.5%
経常利益	252	492	1,130	43.5%
当期純利益	390	472	770	61.3%

本資料は、会社情報、経営計画、連結業績等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

また、本資料のうち、業績予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等と異なる可能性があります。

本資料は、2012年8月10日現在のデータに基づき作成しております。

【お問い合わせ先】

木徳神糧株式会社 社長室

TEL：03-5636-1502 Email:ir@kitoku-shinryo. co. jp

URL <http://www.kitoku-shinryo. co. jp/>